



本郷台小 だより

3月

横浜市立本郷台小学校
令和4年2月28日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

節 目

校長 原 南実子

昇降口に、卒業までのカウントダウンカレンダーが飾られています。6年生一人ひとりが作成したものです。2月25日は卒業まであと「15日」。このカレンダーには、カウントダウンの数字と共に、「一言」が添えられています。この日のカレンダーには「一日一日を大切にしていこう」という言葉がありました。巣立ちに向けて、6年間の締めくくりの日々を仲間とともに大切に過ごし、晴れの卒業の日を迎えようとしている6年生の思いが伝わってきます。



緑階段の3階と4階の踊り場にもカウントダウンカレンダーが飾られています。こちらは5年生が作ったものです。やはり一言が添えられています。2月25日は、5年生修了まであと「19日」。そして、添えられていたのは「みんなのお手本になる6年生になりたい。みんなを引っ張れる6年生になりたい」という言葉でした。もうすぐ、最高学年としてバトンを受け継ぐ5年生の心意気が伝わってきます。



さて、学校生活において、3月は子どもたちの成長のまさに節目をつくる月となります。一年間の学びを振り返り、自分の成長を実感し、次のステージへの心構えと希望をもつ月、それが3月です。節目について、学校の竹を学習材に総合的な学習を行っている3年生と5年生が、こう教えてくれました。「竹の節目は、伸びていくときに折れにくくするためにあるんだよ、大きくなるために必要なんだよ。だから大事なんだよ」と。この言葉は、この節目の大切さを言い当てています。節目はできるもの、ではなく、つくるもの、そう思います。これまで取り組んできたこと、積み上げてきたこと、頑張ってきたこと、チャレンジしてきたこと、楽しかったこと、うれしかったこと、心に染みだしたこと、悩んだり苦しんだりしたこと、乗り越えてきたことなど、どれもみな、子ども達にとって大切な学びとなり、糧となり、子ども達を確実に成長させてきました。学校だより2月号でも書きましたが、この一年の成長は、どの学年の子ども達も目を見張るものがあります。この成長を自覚していくこと、これが節目をつくる、ということです。強い雨風を受けても、節目の力を生かしながらしなやかに受け止め、揺らぎながらも凜と立ち伸びていく竹のように、たとえ困難な事に直面しても、前向きに生きるエネルギーに変えていくために、そして、日々の生活を豊かに創り上げていくために、自分自身を振り返ることで自分の成長を自覚し、自分の良さや可能性を自覚し、自己肯定感や自己有用感を自覚し、未来に向けた力となる「折れないための節目・大きくなるための節目」をつくってほしいと願います。

これまで子ども達は、様々な学習や行事の中で振り返りを行って来ています。そうした足跡をもとに、2月から3月は、一年間を通した振り返りを行い、今の学年での成長を自覚していきます。そして、次の学年へと伸びる節目をしっかりとつくっていきます。その中で、今、全学年が共通して取り組んでいるのが「自分づくりパスポート」です。一年間を振り返り、学習や生活で頑張ったことやできるようになった事を書いていくものです。クラスの友達と話したり、クラスや学年の掲示物で足跡を見つめ直したり、そうしたことを通して振り返り、自分の言葉で記していきます。成長を自覚し、それを自信にして、前向きな気持ちで次のステージに進む意欲と希望を生み出してほしいと思います。今週中に持ち帰りますので、おうちの方々からも温かい言葉を添えていただき、お力添えをお願いします。

この一年、困難な状況は続きましたが、共に子ども達を守り、育てることができましたのも保護者や地域の皆様のおかげです。温かいご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。